

地震風水害共済

自然災害共済

建物から家財まで
地震・風水害・盗難による被害を保障。
火災共済とセット契約が条件です。

重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報(12頁〜))を必ずお読みください。
※「地震風水害共済」は交運共済の商品名で、正式名称は「自然災害共済」です。

特長

- 1 火災共済では対象とならない地震・噴火・津波の被害を保障します。
- 2 風水害等の保障が充実します。
- 3 盗難による被害を保障します。
- 4 火災、風水害、地震または盗難により生じた死亡・身体障害に対して保障します。
- 5 掛金のうち地震に対する保障部分は、地震保険料控除の対象となります。



ご契約いただける方

- ① 交運共済の組合員であればご契約できます。
- ② ご契約は、火災共済とセット加入が条件です。地震風水害共済のみの加入はできません。
- ③ 1物件につき契約は大型タイプ、標準タイプのいずれかをお選びください。

ご契約期間

毎年7月1日～6月30日までの1年間です。
契約期間の途中からご契約できます。
途中契約の効力発生日は以下の通りです。

- ① 現金納入の場合 … 掛金お支払い日の翌日午前0時から
- ② 郵便払込の場合 … 払込消印日の翌日午前0時から
- ③ 賃金控除および
自振(月払い)の場合 … 控除月の翌月1日午前0時から

※退職された方は、賃金控除はできません。

こんな時に共済金をお支払いします

《風水害等共済金》



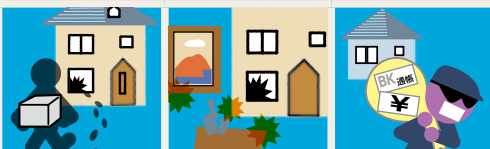
風害 雨・水害 雪害・ひょう害

《地震等共済金・地震等特別共済金》



地震 噴火 津波

《盗難共済金》



盗難 盗難によるき損 通貨・預貯金証書の盗取

《傷害費用共済金》



災害に伴う死亡 身体障害 付属建物・工作物への風水害・地震等による損害

オススメ

大型タイプの特長と加入条件

1. 最高保障額は、地震等で1,800万円、風水害等で4,200万円です。
2. 「付属建物等特別共済金」が自動付帯されます。
付属建物・工作物(門・塀・車庫・カーポート等)に一定額の損害があった場合に保障します。
3. ご契約は、火災共済の建物・家財それぞれの同口数の加入となります。
また、偶数口数での加入をお願いします。

標準タイプの特長と加入条件

1. 最高保障額は、地震等で1,200万円、風水害等で3,000万円です。
2. ご契約は、火災共済の建物・家財それぞれの1/2以上同口数までの加入となります。また、偶数口数での加入をお願いします。

※奇数口数の契約は自動的に偶数口数に切り上げさせていただきます。

掛金

建築区分	大型タイプ			標準タイプ		
	月払い	半年払い	年払い	月払い	半年払い	年払い
木造	13円	78円	155円	9円	53円	105円
耐火(鉄筋)	8円	48円	95円	5.5円	33円	65円

※1口あたりの掛金額です。

ご契約の基準、ご契約の対象、建築区分

火災共済と同様です。火災共済の項目(2～3頁)をご参照ください。

大規模災害発生時における共済金の削減について

1回の風水害等または地震等による自然災害共済実施生協全体の所定の支払共済金総額が、あらかじめ定めた、次の総支払限度額を超える場合は、お支払いする共済金を次の算式によって削減いたします。

$$\text{お支払いする共済金} = \frac{\text{所定の支払共済金の額}}{\text{総支払限度額(右記のアまたはイ)}} \times \text{総支払限度額}$$

総支払限度
ア. 風水害等480億円
イ. 地震等4,500億円

共済金をお支払いできない場合(免責)

- (1) 共済契約者、共済の目的の所有者もしくは共済金受取人またはこれらの者の法定代理人の故意または重大な過失
- (2) 風水害等、地震等または火災等に際しての共済の目的の紛失または盗難
- (3) 契約申込日の翌日から7日以内に発生した風水害により生じた損害(風水害等共済金のみ)
- (4) 地震等が発生した日から10日を経過した後に生じた損害に対する、地震等共済金、地震等特別共済金および付属建物等特別共済金
- (5) 持ち出し家財である自転車および原動機付自転車の盗難
- (6) 直接原因であるか間接原因であるかを問わず、戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動
- (7) 直接原因であるか間接原因であるかを問わず、核燃料物質(使用済燃料を含む。)もしくは核燃料物質により汚染された物(原子核分裂生成物を含む。)の放射性、爆発性その他の有害な特性またはこれらの特性による事故

※詳細は注意喚起情報をご覧ください。

近年日本列島は台風・豪雨・水害・地震など多くの災害が多発しております。災害はいつ起こるかわかりません。自然災害の発生が増えていることもあり、もしもの備えに地震風水害共済へのご契約・特に大型タイプへの切り替えをおすすめします！

災害にあわれた場合は、共済担当者またはお近くの交運共済までご連絡ください。また、ご契約内容に変更等があった場合も同様です。

保障内容

◎風水害等共済金

区分	損害程度	大型タイプ		標準タイプ	
		1口あたり	支払限度額	1口あたり	支払限度額
全壊・全流失	70%以上	70,000円	4,200万円	50,000円	3,000万円
半壊	50%以上 70%未満	49,000円	2,940万円	35,000円	2,100万円
	30%～50%未満	35,000円	2,100万円	25,000円	1,500万円
	20%～30%未満	21,000円	1,260万円	15,000円	900万円
一部損壊	100万円超	14,000円	840万円	10,000円	600万円
	50万円超 100万円以下	7,000円	100万円	5,000円	100万円
	20万円超 50万円以下	2,800円	50万円	2,000円	50万円
	10万円超 20万円以下	1,400円	20万円	1,000円	20万円
全床面積の50%以上浸水					
床上浸水	150cm以上	35,000円	2,100万円	25,000円	1,500万円
	100cm以上 150cm未満	25,200円	1,512万円	18,000円	1,080万円
	70cm以上 100cm未満	21,000円	1,260万円	15,000円	900万円
	40cm以上 70cm未満	14,000円	840万円	10,000円	600万円
	40cm未満	7,000円	420万円	5,000円	300万円
全床面積の50%未満浸水					
	100cm以上	7,000円	420万円	5,000円	300万円
	100cm未満	2,100円	126万円	1,500円	90万円

※上記のほかに、火災共済から最高450万円がプラスで給付されます。但し、一部損壊などの場合、損害額を超えてお支払いはできません。その場合、火災共済の風水害共済金が優先され、不足分を地震風水害共済からお支払いします。

◎地震等共済金 建物被害100万円超が対象。もしくは、家財被害のみ100万円超の場合家財契約のみが対象。

区分	損害程度	大型タイプ		標準タイプ	
		1口あたり	支払限度額	1口あたり	支払限度額
全損	70%以上	30,000円	1,800万円	20,000円	1,200万円
大規模半損	50%以上～70%未満	18,000円	1,080万円	12,000円	720万円
半損	20%以上～50%未満	15,000円	900万円	10,000円	600万円
一部損	100万円超	3,000円	180万円	2,000円	120万円

※地震等共済金の一部損は、100万円を超え、焼破損割合が20%未満の場合

◎地震等特別共済金

損害程度	保障タイプ	共済金額
建物の損害額が20万円を超え100万円以下の場合	大型タイプ	一律45,000円
	標準タイプ	一律30,000円

※建物および家財の合計口数が20口以上の契約がある場合に対象となります。

◎盗難共済金(警察への届出が必要です)

損害区分	損害程度	支払限度額
建物 ^{※1} 家財 ^{※2}	盗取・損傷 汚損 ^{※3}	契約共済金額
通貨 ^{※2}	盗取	20万円または家財の契約共済金額(いずれか少ない額)
預貯金証書 ^{※2}	盗取	200万円または家財の契約共済金額(いずれか少ない額)
持ち出し家財 ^{※2}	盗取	100万円または家財の契約共済金額の20%(いずれか少ない額)

※1 建物に対する損傷・汚損の被害は、建物契約がある場合のみ対象となります。
 ※2 家財・通貨・預貯金証書・持ち出し家財の損害は、家財契約がある場合のみ対象となります。
 ※3 損傷・汚損による盗難共済金の額は火災共済より支払われる場合には、火災等共済金と合わせて損害の額を限度とします。

◎傷害費用共済金

損害程度	1口あたり	支払限度額
死亡	10,000円	600万円
身体障害	1級～14級 10,000円～400円	600万円～24万円

※火災等共済金、風水害等共済金、地震等共済金または盗難共済金が支払われる場合に限りです。

◎付属建物等特別共済金(大型タイプのみ対象)

自家契約があり、付属建物・工作物に風水害等で10万円超の損害があった場合	1世帯あたり 一律30,000円
自家契約があり、付属建物・工作物に地震等で20万円超の損害があった場合	

※建物20口以上の契約がある場合に対象となります。
 ※家財のみの契約、借家契約は対象外です。

1 火災共済には地震による被害の共済金がありません。(見舞金はあります) 地震風水害共済にも加入して、あらゆる万が一に備えましょう!

火事から大切なお住まいを守る共済といえば火災共済です。しかし、火災共済でも全ての災害からお住まいを守ることはできません。火災共済では地震・噴火・津波による被害は保障されず、見舞金のお支払いのみとなります(地震・噴火・津波による見舞金は最高10万円)。

地震による被害に備えるためには、地震風水害共済にもセットで加入する必要があります。「東海地震」「東南海・南海地震」「首都直下地震」「北海道沖の巨大地震」の発生も危惧されており、地震風水害共済にもセットで加入することをおすすめします。

※地震風水害共済のみの加入はできません。

火災共済のみ

の加入



地震

噴火

津波

× 保障がありません
(見舞金のみ)

火災共済と

地震風水害共済に加入



地震

噴火

津波

○ 保障されます

2 適切な保障額・適切な掛金を把握しましょう!

少ない契約口数の場合、掛金は少額ですが、保障額も少額になってしまい、万が一のときに十分な保障を得られない可能性があります。しかしながら、共済・保険に使えるお金は限られています。大切なのは自分にあった保障額・掛金を知ることです。わからない場合は、最寄りの交連共済までご連絡ください。あなたにあったプランをご提案させていただきます。

●「火災等」「風水害等」「地震等」など災害の事由によって保障額は異なります。

火災共済と地震風水害共済に同口数加入している場合でも、火災による全焼と地震による全壊では保障額が異なります。

●少ない保障で十分な場合でも火災共済は50口以上の加入をおすすめします。

火災共済には建物・家財の合計口数が50口以上の加入がお支払いの条件となっている共済金・見舞金があります。

●火災共済の建物・家財の合計口数が50口以上の方は3保障制度にご加入いただけます。

3 建物だけではなく、家財にも加入しましょう! 持ち家ではない場合も家財に加入しましょう!

火災共済・地震風水害共済は、「建物」「家財」どちらかだけでも加入することができます。また、両方に加入することもできます。

こんな方には「家財」の加入をおすすめします。



「社宅だから…、賃貸住宅だから…」

火災保険・共済というと建物の保障をイメージされると思いますが、家財も大切な財産です。テレビ、パソコン、ベッド、家具類、衣類など家財は意外と所有しているものです。一度に全て買い揃えることは困難です。

持ち家ではなくても、万が一に備えて「家財」に加入することをおすすめします。

「住宅ローンとセットの火災保険・共済に加入しているし…」

住宅を失ったときに、ローンは完済できても建物を再建できない場合があります。

また、住宅ローンを組む際に加入する火災保険・共済は、建物の保障のみ加入しているケースが多数あります。その場合、家財に対する被害は保障されません。

保障の内容を確認していただき、十分でない場合は「家財」に加入することをおすすめします。

地震風水害共済は「建物」への加入をおすすめします。

地震風水害共済では「建物」へのご契約がない場合、建物が被害を受けた際、建物についての給付を受けられません。「家財」へのご加入と合わせて「建物」にもご加入することをおすすめします。※貸家・独身寮など両方加入できない場合は除く